

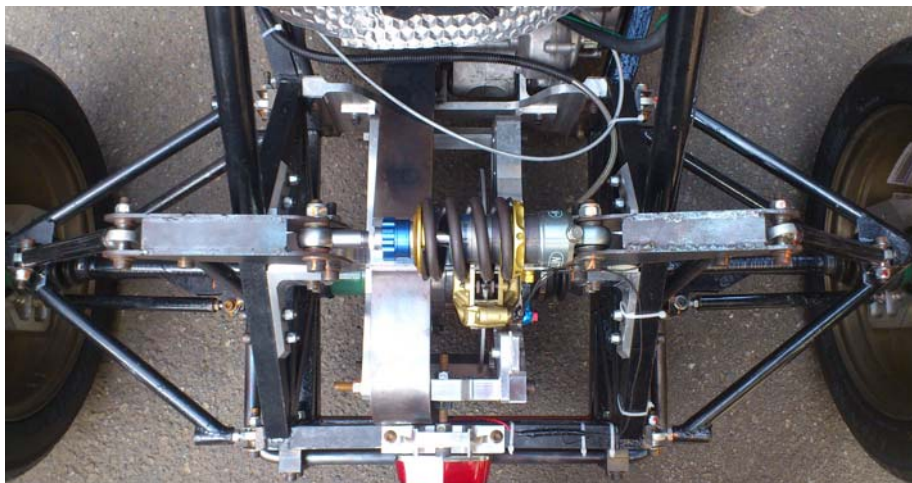


目標達成まであと一歩及ばず

TEAM STAR 2014

TEAM STAR 2014

<http://www.hino.meisei-u.ac.jp/me/kamei/fs/2014/>



Presentation プレゼンテーション

マシン名: STAR 2014

TEAM STAR 2014 では、「3人で作れて、3人で楽しめるフォーミュラカー」というコンセプトのもと、車両設計を行いました。改良を続け4年目となった角パイプフレーム、単気筒エンジン(PE06E HONDA CRF450X)、キャブレター、市販の公道用タイヤ、量販店にて入手できるブレーキキャリパーやダンパーの採用をはじめ、電子制御を用いない機械式のシフト機構、2年目となる前後モノショックによる小部品点数化、リヤのシングルブレーキ、削り出し部品の使用による寸法精度の追求により、コンセプトどおり3人の状態でも素早く整備ができる車両となりました。特にエンジンまわりにおいては、多気筒エンジンに比べ軽量でありエンジンを取り巻くパーツが少なくセッティングやメンテナンスにおいて簡略化ができる単気筒エンジンにより、より効率よく調整が可能となりました。

車両の最大の特徴は、リヤの駆動部品まわりが全て削り出し部品で構成されていることです。こうすることによりドライブスプロケットとドリブンスプロケットを同一平面上に精度良く配置できる他、チェーンを張る機構を備えることができました。

このような工夫が随所に組み込まれており、規模の小さなチームでも車両製作・組み立て・走行と行える車両となりました。

Participation report 参戦レポート

今年度チームは実働メンバーが、他チームに比べ圧倒的に少なかったものの「全動的審査走走・総合30位以内」を目標に掲げ、前回大会の車検で指摘された点の設計を見直し、例年よりも学内で走行したうえで試走会へ参加し、そこでの指摘点を改善し大会へ臨みました。

今回の車検では、比較的容易に修繕、改良ができる不適合箇所だったので技術車検は大会2日目に終わることができました。3日目には早々にチルト、騒音、ブレーキと合格しアクセルレーションとスキッドパッドに参加する予定でしたが、エンジン不調とブレーキ審査で時間を要した影響によりアクセルレーションとスキッドパッドそれぞれ1回ずつしか参加することができませんでした。オートクロスではランオーダーラストというタイムながらもエンデュランスの出走権を得ることができました。しかし、エンデュランス当日は天候に恵まれず開始時間が遅れた影響により、出走待機列に並んでいたものの審査終了の時間となってしまい走ることができませんでした。

結果的に全動的審査走走の目標は達成できませんでしたが、昨年出走できなかった審査へ参加することができたこと等、大きな収穫を得ることができました。来年こそは全動的審査走走を達成すると共に、さらに運転しやすい車両へと改良、ドライバーのスキルアップをレジャンプアップをめざします。



今回の総合結果・部門賞

●総合58位

Profile チーム紹介・今までの活動

11年連続出場となりました。

近年、全動的審査への参加・完走ができていません。

今年は全動的審査への参加・完走及び総合30位以内を目標に学年の枠を超えて協力し合い、活動してきました。

Team-member チームメンバー

岩本 大雅 (CP)

川原 万人 (FA)、亀井 延明 (FA)、石井 友之 (FA)、

江川 庸夫 (FA)、石田 弘明 (FA)、

秋山 晃理、荻野 貴裕、金澤 夕規、木村 知頼、

座間 拓馬、天野 慶、雨宮 新、荒川 博紀、

細瀨 洸司、池本 拓也、奥山 裕貴、田中 遼、

谷 玄之介

Sponsors スポンサーリスト

アースエンジニアリング、アルテクノ、石河製作所、ウエストレーシングカーズ、岡村タイヤ商会、小島製作所、坂西精機、佐々木工業、ジーテック、真幸電機、ダッソーシステムズ、ドライバーズスタンド府中2りんかん、深井製作所、プレニー技研、本田技研工業、F.C.C.、MYZ、NTN、RAC、RAYZ、SLASH、woodfamily、YOKOHAMA、明星大学同窓会明星会、育星会、明星大学理工学部総合理工学科機械工学系